

株式会社 東海理化

東海理化、愛知県が実施する「2024 年度自動運転実証実験」に参画

～遠隔監視システム・乗客安全支援システムで、自動運転車の社会実装実現に貢献～

株式会社東海理化(本社: 愛知県丹羽郡大口町 代表取締役社長: 二之タ 裕美)は、愛知県が実施する「2024 年度自動運転実証実験」にて、モリコロパーク(愛・地球博記念公園)で実施する集客施設モデルにおいて、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社を幹事会社とする全 6 社の企業グループとして参画します。

(実証実験の概要は、別添資料(『【愛知県事業】2024 年度自動運転実証実験参画のお知らせ(アイサンテクノロジー発表資料)』をご参照ください。)

当社は遠隔監視システムおよび、乗客安全支援システムで安心安全な自動運転車の社会実装に向けた取り組みに貢献します。

＜当社の役割＞

○遠隔監視システム

車両外に取り付けた複数台のカメラの映像を合成処理し、映像品質を維持したままリアルタイムに遠隔監視センターへ伝送することができ、運行中の複数車両の走行状況や車内外の状況を 1 台のパソコンで一括監視することができる。また、カメラへのエアウオッシャ搭載により、降雨時に雨滴を除去し良好な視界を確保することで実現する、監視者の負担が少ない安心・安全な遠隔監視システム。

○乗客安全支援システム

画像認識技術により、乗客が走行中に席を立つなどの怪我につながるような不安全行動を検知し、安全を支援するシステム。

【集客施設モデルで使用される車両】



- ・大型自動運転バス「エルガ」をベースとした車両
 - ・自動運転システムの特徴
 - 3D マップ方式
 - GNSS 方式
- ※今後の状況により、車両について変更の可能性あり。

＜問い合わせ先＞ 株式会社東海理化 総務部広報室 (Tel.0587-95-5211)

【愛知県事業】2024 年度自動運転実証実験参画のお知らせ

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）は、全国に先駆けて 2016 年度から自動運転の実証実験を積み重ね、自動運転技術の向上とともに、ビジネスモデルの構築や社会的受容性の醸成を図ってまいりました。

本件は、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：丸岡 亨）を幹事会社とし、ショーケースモデルにおいては全 9 社、集客施設モデルにおいては全 6 社の共同体で愛知県より委託を受け事業実施をします。

本年度は、中部国際空港島及び周辺地域では、地元のコミュニティバスの自動運転化を想定した定期運行や、中部国際空港連絡道路を含むルートで輸送力の高い車両による自動走行の検証を行うほか、モリコロパーク（愛・地球博記念公園）では、ジブリパーク施設等を結ぶ「園内バス東ルート」において、歩車混在空間における安心安全な運行の検証を行うことで、実装に向けた取組を加速します。

当社は、常滑市りんくうエリア並びにモリコロパークの実証実験に参画します。

2 実証実験の概要

以下の 2 地域（常滑市、長久手市）において実施

モデル類型	ショーケース	集客施設
実証地域等 (予定)	常滑市	長久手市
	・常滑市りんくうエリア	園内バス東ルート (愛・地球博記念公園)
	公道	閉鎖空間
テーマ	・コミュニティバスの自動運転化の検証	多数の歩行者が行き交う園内での歩車共存の検証
特徴	○りんくうエリアにおける一般客向け定期運行 ・将来的なコミュニティバスの自動運転化を見据えた技術面 ・運用面の検証・社会実装時に必要となる夜間走行（雨天でも実施）の検証	○歩車混在空間における安全走行 ・ジブリパークの全 5 エリアがオープンし、歩行者が多数存在する環境下での安全性確保の検証 ○ダイヤに則した定期運行 ・ルート上の限られた地点にてのみ他のバス車両とのすれ違いが可能であるため、定時性を確保するオペレーションの検証

- 最終的な実証実験ルートや実施時期は、愛知県警察、施設管理者等との調整を経て決定し、改めて発表する。
- 今後の状況により、実証実験の内容について変更の可能性あり。
- 2 地域とも運転席は有人で運行する。

<https://www.aisantec.co.jp>

———— News Release ————

3 事業実施体制

(2) 実証実験

ア ショーケース

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社に事業委託

同社を幹事会社とする企業グループで事業実施【9社】

参加予定企業名		主な役割
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社（幹事）		事業統括、ネットワークソリューションの提供、車両調達等
先進モビリティ株式会社		自動運転車両の提供、走行調律作業の実施等
アイサンテクノロジー株式会社		自動運転車両の提供、3Dマップの作成
	株式会社ティアフォー	遠隔管制システムの提供等
	損害保険ジャパン株式会社	自動運転リスクアセスメント、専用保険の提供等
名鉄バス株式会社		遠隔管制者、交通事業者としての運行支援等
	知多乗合株式会社	交通事業者としての運行支援等
NTTテクノクロス株式会社		車両状態伝送システムの提供等
株式会社ソリトンシステムズ		車載カメラからの映像伝送システムの提供等

イ 集客施設

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社に事業委託

同社を幹事会社とする企業グループで事業実施【6社】

参加予定企業名		主な役割
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社（幹事）		事業統括、ネットワークソリューションの提供、車両調達等
アイサンテクノロジー株式会社		自動運転車両の提供、3Dマップの作成
	株式会社ティアフォー	遠隔管制システムの提供等
	損害保険ジャパン株式会社	自動運転リスクアセスメント、専用保険の提供等
	株式会社東海理化	遠隔監視システムの提供、乗客安全支援システムの提供
名鉄バス株式会社		遠隔管制者、交通事業者としての運行支援等

下線は今年度新規参画企業

—— News Release ——

4 車両

以下の車両を使用する。

	地域等	車両	イメージ	説明
ショーケース	りんくうエリア	小型バス車両 (1台)		・小型バス「Minibus (ティアフォー)」 ・自動運転車両の提供 - アイサンテクノロジー ・自動運転システムの特徴 - 3Dマップ方式
集客施設	モリコロパーク	大型バス車両 (1台)		・大型バス「エルガ (いすゞ自動車)」をベースとした車両 ・自動運転車両の提供 - アイサンテクノロジー ・自動運転システムの特徴 - 3Dマップ方式 - GNSS方式

○ 今後の状況により、車両について変更の可能性あり。

本リリースに関するお問い合わせ先

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目7番14号 ATビル
アイサンテクノロジー株式会社 モビリティ・DX ビジネスグループ
TEL 052-950-7500